



2 塩瀬友禪に刺繍「海裳に孔雀図」掛幅

西村總左衛門 1幅 明治14年(1881)

246.0×172.7

18～19世紀に京都画壇で活躍した岸駒(1749～1838)が描いた「孔雀図」(千總所蔵)を原画とし、岩肌をやや強調する以外は、ほぼ原画に忠実な図様に仕上げられている。塩瀬地に伝統的な色挿し技法と、新しい写し友禪の技法を用いて、細部まで丁寧に表現している。そして、孔雀の羽や海裳の花、蜜蜂など、一部の描写に刺繍を加えている。画面周囲の表装も画面と一続きになる友禪染による。十二代西村總左衛門による明治14年の第2回内国勸業博覧会の出品作。



- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

美術染織の精華 ― 織・染・繡による明治の室内装飾

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 54

編集 宮内庁三の丸尚蔵館
制作 株式会社 東京美術
翻訳 横溝廣子
発行 宮内庁
平成二十三年三月二十九日発行

© 2011, The Museum of the Imperial Collections